

使用者の声

「殺線虫剤 ネマトリンエース粒剤」の使用感について、インタビュー！
生産者様の声を紹介します。



石原

殺線虫剤

ネマトリンエース
粒剤

®は登録商標

【ミニトマト】 宮崎県 高添さん

ミニトマトの線虫防除に活用。 使わなかった年は線虫が出たので 毎年欠かさず使い続けています。

使用をやめた途端に線虫被害に。
収穫量確保のためにも欠かせない薬剤。

宮崎県宮崎市でミニトマトを40a栽培している高添さんにお話を伺いました。「土壌病害の青枯病がひどくなってきたので、対策として土耕栽培から隔離ベッド栽培に変えました。すると、青枯病はあまり出なくなりましたが、今度は線虫被害が増えてしまいました」と当時を振り返ります。

「線虫被害に遭った樹は細くなり、実がほとんどならない状態になりました。そこで2年目から線虫防除として土壌消毒剤とネマトリンエース粒剤を使用したところ、線虫被害はほぼなくなりました」と効果を実感したといいます。しかしこんな失敗談も。「もう線虫は大丈夫だろうと思ってネマトリンエース粒剤を使わなかった年もありましたが、収穫後に根にコブがついていて線虫が寄生していることに気づきました。大きな被害にはならなかったものの、土壌中に線虫が増えると収穫量が落ちてしまうので、それからは毎年保険として使うようにしています」。

周囲の声に耳を傾け、自ら試す。
美味しいミニトマトを消費者に届けるために。

ミニトマトを栽培するうえで、このこだわりを伺うと、「こだわりのないことがこだわりのすね」と高添さん。「とにかく部会の人たちの話を色々聞いて、良いと思ったものは積極的に取り入れるようにしています。固定観念にとら



*剣は合成です。

われずに良いものを作っていきたいので」と柔軟な姿勢で栽培に取り組んでいる様子うかがえます。メインで栽培している『サマー千果』は、高添さんの所属する南宮崎支店トマト部会全体で一番多く栽培されている品種で、「とにかく収穫量が多く安定しているのが一番のメリット」と話します。「生産者としては、たくさん採れることはうれしいですね」と喜びを教えてくださいました。高添さんは他にも、流通の少ない『小鈴スイート』を栽培。「春先になるとフルーツみたいに甘さがのる」という食味の良さからファンは多く、「欲しいと言ってくれる方がいる限り、これからも作っていきこうと思っています」と笑顔を浮かべました。

最後に、ネマトリンエース粒剤を今後も活用いただけるかお聞きすると、「線虫防除に役立っていますので、これからも毎年使っていきたいと思います。周りの生産者にも、ネマトリンエース粒剤はよく効くよと伝えていきたいです」と嬉しいお言葉をいただきました。

※取材時(2025年1月)における個人の感想をもとに作成しています。

●使用前にラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。



石原バイオサイエンス株式会社

本社 普及部 〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号



“使用者の声”は
webでもご覧
いただけます